

保証書のご確認を

ご購入時には、必ずお買い上げ年月日および販売店様の捺印をご確認ください。記載内容に不備や漏れがある場合、本書は無効となり、保証期間内であっても、有償修理となる場合がありますので予めご了承ください。無料修理を受ける際、保証書と併せて、ご購入時のレシートや領収書などご購入履歴の提示をお願いする場合がありますので、保証書およびご購入履歴は大切に保管してください。

また、インターネットなどの通信販売で購入された場合は、納品書や購入履歴を保証書と一緒に大切に保管してください。

《無料修理規定》

1) 保証期間内に取扱説明書、注意書き、添付ラベル等の注意書きに従って正常な使用をしたにもかかわらず、故障した場合は、無料修理いたします。

2) 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本製品と保証書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店にご相談ください。

3) ご転居等でお近くにエーハイム製品取扱店がない場合は、弊社カスタマーサポートにご相談ください。

4) 保証期間内でも次の場合は保証対象外となります。

イ 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。

ロ 本書にお買い上げ年月日、販売店様名などの記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

ハ 火災、地震、水害、落雷その他天災地変による故障および損傷。

ニ 入力電圧やヘルツ間違い、異常電圧などによる故障および損傷。

ホ お買い上げ後の移動、落下などによる故障および損傷。

ヘ 観賞魚水槽以外に使用された場合の故障および損傷。

ト 飼育動物による故障および損傷。

チ 無理なハンドル操作によるフィルターケース、マルチハンドル、マルチハンドル差し込み部品などの破損。

リ 付属品や消耗品(インペラー、スピンドル/ラバー、Oリング、フィルターバッドなど)の消耗による交換。

ヌ セット方法や適切なメンテナンスを怠ったことが原因によるモーターの焼き付き。

●飼育動物の病気や死亡、水草や海草・海藻の枯れなどの補償

●新品・中古品に関わらず、オークションやリサイクルショップ、フリーマーケットサイトなど個人売買で購入された場合、保証いたしかねる場合があります。

5) 保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid ONLY IN JAPAN.

6) 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

【注意】

●使用中、何らかの異常が発生した場合は使用を中止し、生体の保全と、安全のための適切な処置をおこなってください。

●ご質問やご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店様または弊社カスタマーサポートにお問い合わせの上、ご使用ください。わからないままご使用になることは絶対におやめください。

●保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

日本総代理店

神畠養魚株式会社

用品部 〒670-0073 兵庫県姫路市御立中3-3-20

【製品に関するお問い合わせ】

Tel. 079-297-5420 Fax. 079-293-6467

ホームページ <https://www.kamihata.co.jp>

エーハイム製品専用ページ <http://www.eheim.jp>

エーハイム エココンフォート 2232/2234/2236

安心の
2年間
保証付

CONTENTS

- 1~2—安全にお使いいただくために
- 3—エココンフォートシリーズの特長/製品仕様
- 4—エココンフォートシリーズ 内部模式図
- 5—各部の名称
- 6—パッケージの中身をご確認ください
- 7~10—セットの手順/
日常の点検・手入れ
- 11~12—故障かな?と思ったら
- 13—主要部品図
- 14—アクセサリー表

2234

(60~75cm水槽)



2236

(75~90cm水槽)

このたびは、エーハイムエココンフォートシリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

- 本製品は梱包など万全を期していますが、ご使用になる前に必ず破損やパーツ不足など異常がないかをチェックしてください。破損などが見つかった場合はそのまま使用せずにお買い上げ店にお申し出ください。
- 安全にお使いいただくために、取扱説明書の警告・注意をよくお読みください。この取扱説明書は必ず保管してください。
- 本製品には保証書がついています。保証書はかならずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管してください。
- 正しくお使いいただくために、十分に理解してからご使用ください。お読みになった後は保管し、必要な時にお読みください。
- P1・2 の「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。

本製品は観賞魚用品です。他の目的では使用しないでください。誤った使用方法や本来の目的以外の使用、勝手な改造、修繕などによる故障、その他の影響などにつきましては一切補償いたしかねます。

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために警告・注意などをよく読み、よく理解してからご使用ください。間違った使い方は、人や生体への影響、器具類の故障、感電、火災などの重大な事故の原因となりますので、絶対に避けてください。

⚠ 警告



一般的な禁止の
通告



使用者の行為を
指示する表示

通電前に、本体、配管から水漏れがないか必ず確認してください。		交流(AC)100V以外での電源使用はしないでください。(感電・発火の恐れあり)	
電源プラグやコンセント部を濡らしたり、濡れた手で触らないでください。(感電・故障の恐れあり)		水漏れ、破損、ポンプの故障の際は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。	
生体の出し入れ、掃除、点検、移動などのために水槽内部に手を入れるときは、必ずすべての電源を抜いてください。(感電の恐れあり)		湯気など温気の多すぎる所、ホコリの多い場所では使用しないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)	
電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。		引火性のもの(ガソリン、シンナーなど)の近くで使用しないでください。	
電源プラグの刃やコンセントの汚れは、定期的に取り除いてください。(発火の恐れあり)		電源コードは必ずループ状にたわませて設置してください。万一本体から漏水が発生した際、電源コードからコンセントに水が伝わって漏電する事故を予防することができます。(漏電、感電の恐れあり)	
電源コードに水が伝わってしまった場合は、電源プラグを抜かず、直ちに元電源のブレーカーを遮断した後、電源プラグを抜いて、状況を確認してください。		水を吸っていない(呼び水をおこなっていない)状態での空運転はおこなわないでください。(故障、発火の恐れあり)	
煙が出たり、異臭がしたら、直ちに電源プラグを抜いてください。		使用しない時は電源プラグを必ず抜いてください。(故障、発火の恐れあり)	
本体を落としたり、ぶつけたりして傷をつけないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)			

⚠ 注意



本製品は日本仕様として製造されています。
国内でのみお使いください。

屋内専用です。屋外では使用しないでください。



<p>本製品のご使用時における生体の病気などの補償は致しかねます。予めご了承ください。</p>		<p>電源コードにつまづいたり、引っかけてしまわないように取り付け、取り回しにご注意ください。</p>	
<p>電源コードは経年劣化により硬化してひび割れを起こすことがあります。定期的に点検をおこなってください。(感電、発火の恐れあり)</p>		<p>電源プラグはコンセント口の奥まできちんと差し込んでください。コンセントの容量を超えたタコ足配線や、テーブルタップ(延長コード)の使用はおこなわないでください。(発火の恐れあり)</p>	
<p>本製品は水槽よりも低い位置で、フィルター本体の底と水槽水面との高低差が最大150cm以内になる水平で安定した場所に設置してください。</p>		<p>小さなお子様に操作させたり、触ったりさせないでください。(水漏れ、故障、感電の恐れあり)</p>	
<p>本製品を電子機器、精密機械、楽器など、水分、塩気を嫌う製品のそばに設置しないでください。(これらの製品が故障する恐れがあります)</p>		<p>本製品は磁界を発生させるため、磁気媒体をはじめとした磁気の影響を受ける機器は近付けないでください。また、ベースメーカーをはじめとする磁気の影響を受ける可能性のある医療機器や精密機器をご使用の場合は、それらの機器類の取り扱い説明書に記された安全距離を必ず保つようにしてください。</p>	
<p>定期的に各部を掃除し、汚れの付着や目詰まりなどを防いでください。本製品は水冷式モーターですので、汚れや目詰まりなどは大敵です。特にモーター内部駆動部分の掃除や取り付けスポンジ類の掃除は忘れがちですので本書に従って定期的に実施してください。</p>		<p>ホースは、折れ曲がったるんだりしないように正しく取り付けてください。</p>	
<p>弱った魚、稚魚、小型魚などがストレーナー部に吸い込まれることがありますのでご注意ください。</p>		<p>弱った魚や小さな魚などが水槽のガラス壁とパイプあるいはストレーナーの間に挟まれる場合がありますので予めご注意ください。</p>	
<p>1日1回は本製品が正常に作動していることを確認してください。定期的に各部を掃除し、汚れの付着や目詰まりなどを防いでください。 (故障、飼育生体が死に至る恐れあり)</p>		<p>使用中、何らかの異常が発生した場合は使用を中止し、生体の保全と、安全のための適切な処置をおこなってください。</p>	
<p>各部に使用されているOリングは、いずれも経年劣化しますので、劣化が認められたら交換してください。Oリングが劣化したまま使い続けると、水漏れで家財などを漏らす財産損害発生の恐れがあります。</p>		<p>ろ材はエーハイム純正品の各フィルター専用の各種パッド類とろ材をお使いください。 また、ろ材は入れすぎないでください。</p>	
<p>電源コードを傷めないでください。曲げすぎない、引っ張らない、重量をかけない、束ねない、加工しないなど。(感電、発火の可能性あり)</p>		<p>初めてセットした場合は、セット後30~60分はポンプが正常に作動しているか、水漏れがないかを確認してください。また、留守にする前にセットしないでください。</p>	

その他のご注意・お願い

- 梱包など万全を期しておりますが、ご使用になる前に必ず破損など異常がないかを確認してください。破損などが見つかった場合はそのまま使用せず、速やかにお買い上げ店にお申し出ください。
- 適合水槽は魚の数、環境によって異なります。海水魚、大型魚などを飼育する場合は、他フィルターの併用や匹数の調整をおこなってください。
- お手入れの際は、熱湯、アルコール、シンナー、洗剤などは使用しないでください。製品の品質劣化、生体への悪影響の恐れがあります。ぬるま湯に浸した布や、柔らかいブラシを使用してください。
- ポンプは水槽システムの要です。24時間休みなく稼働しているため、インペラーの摩耗、モーター劣化等により故障することがあります。大切な飼育生体のために予備のポンプをご用意いただくことをおすすめします。
- 設置場所によってはクリションラバーの跡が残る場合がありますのでご注意ください。
- 本製品は、改良のため予告なく仕様・デザインを変更する場合がございます。予めご了承ください。
- 本製品を直射日光の当たる場所や凍るような場所などに設置したり、保管したりしないでください。
- 本製品を他の人に譲り渡す場合は必ずこの取扱説明書も一緒にお渡しください。

エコ コンフォートシリーズの特長／製品仕様

呼び水 かんたん! マルチハンドルを動かすだけで 水槽の水がフィルターに!

1. ホース・パイプ・開閉タップをそれぞれ接続
2. 開閉タップのコックを開けて、ハンドルを下げるだけで呼び水がスタート（※1）
　　フィルター内が水で満たされ、排水パイプまで上がってきた水位が水槽水位と同じになれば呼び水完了！
3. 電源を入れて作動開始！
※1 呼び水を確実にするため、水位は水槽フチから10cm以内にしてください。呼び水前に、フィルターケース／ホース内部に水を入れないでください。マルチハンドルは、セーフティロックの位置まで確実に下げ、吸水パイプ内の水が、水槽フチを乗り越えたら元の位置に戻してください。



らくらく お掃除! マルチハンドルを動かすだけで モーターへッドが着脱可能！

1. 電源を抜き、開閉タップのコックを閉めて本体から分離させ、セーフティロックを押しながらマルチハンドルまで下げる時とモーターへッド部を取り外すことができます。
2. ろ材コンテナをフィルターケースから取り出し、ろ材の交換や洗浄をおこない、また元に戻します。
3. 取り外した際と逆の手順でモーターへッド部を設置し、開閉タップを接続してコックを開け、呼び水をおこなってから始動させます。



自由度の高い 接続部 取り回し自由自在！

開閉タップと本体の接続部が360°回転するため、ホースの取り回しが自由にでき、より柔軟性を防ぎます。



持ち運びに 便利 マルチハンドルで 簡単持ち運び！

マルチハンドルを持つことで片手で簡単に持ち運ぶことができます。



安全機能 子どもの イタズラにも！

小さなお子様がマルチハンドルを操作しても、セーフティロックがあるため水漏れを防ぎます。



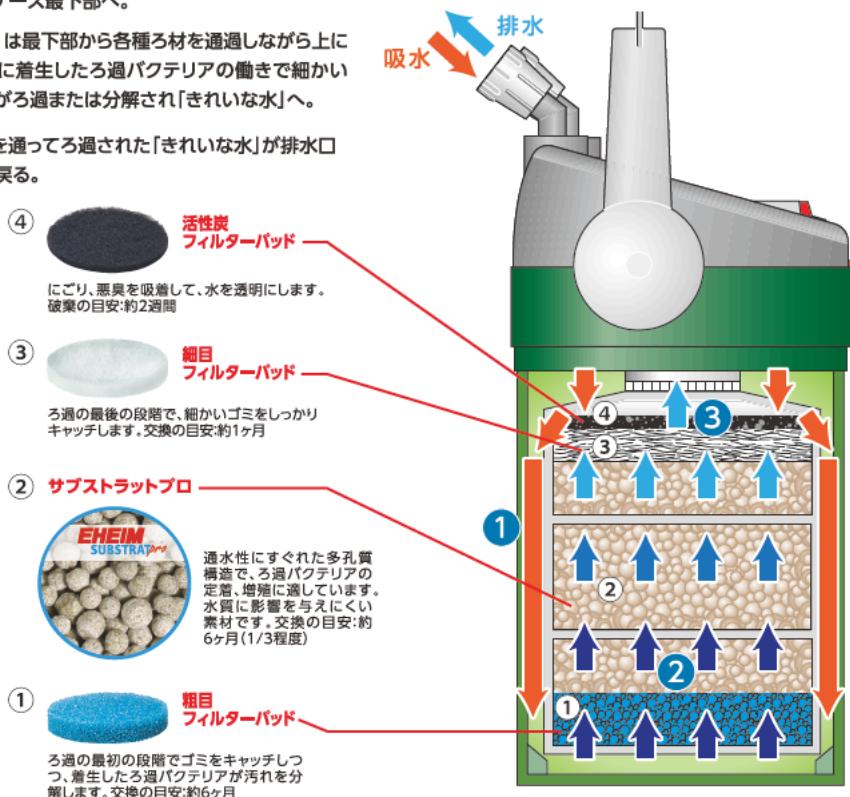
機種	エーハイム エコ コンフォート 2232	エーハイム エコ コンフォート 2234	エーハイム エコ コンフォート 2236
エーハイムコード	2232330	2234330	2236330
定格周波数	50/60Hz共通	50/60Hz共通	50/60Hz共通
流量	50Hz 500l/h 60Hz 550l/h	50Hz 500l/h 60Hz 550l/h	50Hz 600l/h 60Hz 700l/h
最大揚程	50Hz 1.0m 60Hz 1.3m	50Hz 1.0m 60Hz 1.3m	50Hz 1.3m 60Hz 1.8m
定格電圧	AC100V	AC100V	AC100V
定格消費電力	50Hz 6W 60Hz 8W	50Hz 6W 60Hz 8W	50Hz 9W 60Hz 12W
ホース径	吸・排水共に Φ12/16mm	吸・排水共に Φ12/16mm	吸・排水共に Φ12/16mm
ろ過槽容量	約3.0ℓ	約4.0ℓ	約5.0ℓ
ろ材容量 (ろ材コンテナ)	約1.6ℓ (約0.8ℓ×2個)	約2.4ℓ (約0.8ℓ×3個)	約3.2ℓ (約0.8ℓ×4個)
付属ろ材	フィルターパッド(粗目、細目、活性炭)各1枚 サブストラットプロ 約1ℓ	フィルターパッド(粗目、細目、活性炭)各1枚 サブストラットプロ 約2ℓ	フィルターパッド(粗目、細目、活性炭)各1枚 サブストラットプロ 約3ℓ
本体寸法(mm)	約(D)205×(H)330	約(D)205×(H)370	約(D)205×(H)420
適合水槽(目安)	45~60cm水槽 (約40~57ℓ)	60~75cm水槽 (約57~114ℓ)	75~90cm水槽 (約114~157ℓ)
用途	淡水・海水両用、屋内専用		

※流量の表示はポンプ能力の最大値です。使用環境により流量は異なります。

※適合水槽は、実際の使用環境を想定した目安として設定しています。

エコ コンフォートシリーズ内部模式図

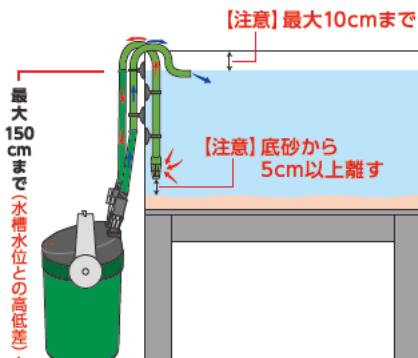
- ① 水槽の「汚れた水」は吸水口からフィルター本体へ入り、フィルタークース最下部へ。
- ② 「汚れた水」は最下部から各種ろ材を通じながら上に流れ、ろ材に着生したろ過バクテリアの働きで細かいゴミや汚れがろ過または分解され「きれいな水」へ。
- ③ フィルターを通じてろ過された「きれいな水」が排水口から水槽へ戻る。



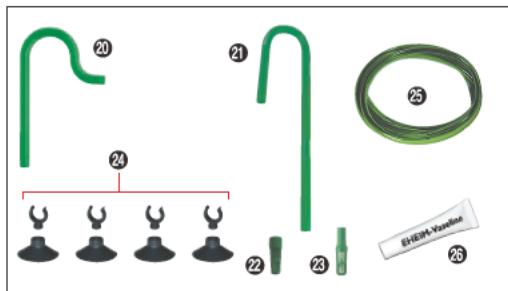
設置場所について

本製品はサイフォンの原理を利用して
飼育水を循環させます。
本製品は、水槽より下に設置してください。

※水槽水面との高低差最大150cmまで。
※呼び水機能を確実にするため、水位は水槽フチから10cm
以内。
※ストレーナーの位置は、底砂を吸い込まないように、底
砂から5cm以上離れるよう、吸水パイプをカットして調整
してください。



各部の名称



※イメージは2232です。

パッケージの中身をご確認ください

2232

※同梱のワセリンは、マルチハンドルを円滑に作動させる為にモーター・ヘッド部の赤いOリングに塗布してください。



エーハイム
エココンフォート2232



EHEIM-Vaseline

ワセリン(1個)



活性炭
細目
粗目
フィルターパッド(各1枚)



サブストラットプロ
約1ℓ



吸着盤
(4個)

クリップ
(4個)

開閉タップ
(2個)

クッションラバー
(4個)

ストレーナー
(1個)

2234

※同梱のワセリンは、マルチハンドルを円滑に作動させる為にモーター・ヘッド部の赤いOリングに塗布してください。



エーハイム
エココンフォート2234



EHEIM-Vaseline

ワセリン(1個)



活性炭
細目
粗目
フィルターパッド(各1枚)



サブストラットプロ
約2ℓ



吸着盤
(4個)

クリップ
(4個)

開閉タップ
(2個)

クッションラバー
(4個)

ストレーナー
(1個)

2236

※同梱のワセリンは、マルチハンドルを円滑に作動させる為にモーター・ヘッド部の赤いOリングに塗布してください。



エーハイム
エココンフォート2236



EHEIM-Vaseline
ワセリン(1個)



活性炭
細目
粗目
フィルターパッド(各1枚)



サブストラットプロ
約3ℓ



吸着盤
(4個)

クリップ
(4個)

開閉タップ
(2個)

クッションラバー
(4個)

ストレーナー
(1個)

本製品には保証書がついています。保証書はからならずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管してください。

エコ コンフォートシリーズ共通 セットの手順

全ての作業は電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。

① モーターへッドの取り外し

- (1) マルチハンドルをセーフティロックに当たるまでゆっくりと下ろします。
- (2) セーフティロックを押してロックを解除しながら、フィルターケースに触れるまでマルチハンドルを更に下ろします。
- (3) モーターへッド部を上に持ち上げ、取り外します。



② ろ材の洗浄 / フィルターケースへのセット

- (1) ろ材の洗浄/セット
フィルターケースからろ材コンテナを取り出します。
ろ材コンテナを開け、中のフィルターパッド(2種類)を取り出します。
付属のろ材(3種類のフィルターパッド、サブストラットプロ)を
それぞれ流水で洗い、P4【内部構造図】を参考にろ材コンテナにセットします。
- (2) フィルターケースの洗浄/クッションラバーのセット
フィルターケースは水で洗って水分を拭き取ります。フィルターケースOリングが
触れる部分にろ材の粉や、ゴミなどが付かないようにしてください。
付属(同梱)のクッションラバーをフィルターケースの底に貼り付けます。
接着面はきれいにして、乾いた状態で貼り付けてください。
- (3) ろ材コンテナのセット
ろ材コンテナ同士を接続した後、フィルターケースにろ材コンテナをセットします。



③ モーターへッドの取り付け

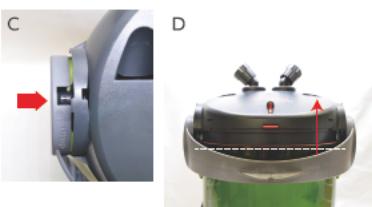
【重要】 フィルターケースに水を入れないでください。

- フィルターケースOリング(赤いOリング)にろ材の粉やゴミなどが
付いていないことを確認し、付属のワセリンを薄く塗布します。(A)
- フィルターケース内側のフィルターケースOリングが当たる部分にゴミなどの付着がないか
確認後、付属のワセリンを薄く塗布するとマルチハンドルの操作性が向上します。(B)



- (1) モーターへッド部両端の突起を、マルチハンドルの溝に
しっかりと納めます。(C)

【重要】 このとき、本体を真正面から見て、モーターへッドがフィルターケースに
まっすぐセットされていることを必ず確認してください。(D)

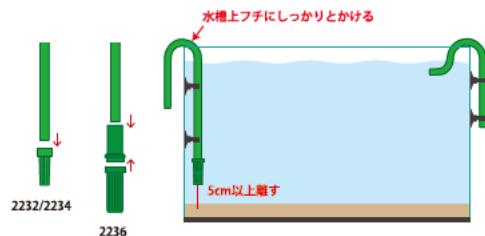


- (2) マルチハンドルがセーフティロックを超えて垂直になるまで、ゆっくりと引き上げます。
モーターへッドが下がり、フィルターケースに密着します。

4 吸水パイプ、排水パイプのセット

吸水パイプの長い側にストレーナーを取り付けます。吸水パイプ、排水(オーバーフロー)パイプを任意の場所にクリップ付き吸着盤で取り付けます。

※吸水パイプは、底砂から最低でも5cm以上離し、かつ水槽上フチにしっかりとかかるように設置してください。パイプが長すぎる場合は、パイプカッターなどで適当な長さにカットして使用してください。(けがに注意)



5 吸・排水パイプと開閉タップの接続

1.開閉タップのセット

- (1) モーター・ヘッドの各コネクターに、開閉タップを接続します。
- (2) 開閉タップに付属のステッカー(IN/OUT)を貼り付けます。
接着面はきれいにして、乾いた状態で貼り付けてください。
※モーター・ヘッド上部のコネクター近くに、IN(吸水側)/OUT(排水側)の表示があります。



2.ホースの接続

吸水パイプと開閉タップ(IN)、排水パイプと開閉タップ(OUT)をそれぞれホースで接続します。この際、ホースはたるまない適当な長さにカットします。ホースの切り口はまっすぐにしてください。
ホースナットを締め、ホースと開閉タップをしっかりと固定してください。
※ホースに折り目やクセがついている、固くて作業がしづらい場合は、ホースを40~50°C程度のお湯につけると柔らかくなり、作業しやすくなります。(ヤケドに注意)



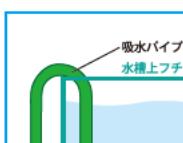
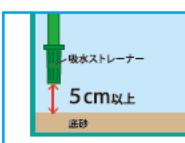
6 呼び水

注意：呼び水が完了するまで電源を入れないでください。

開閉タップが吸排水ともに開いていることを確認してください。
マルチハンドルがセーフティロックに当たるまで確実に下ろしたあと(①)、
垂直になるまでハンドルを引き上げます(②)※。

※飼育水が落下し始めるのを確認したらハンドルを戻します。

吸水パイプは水槽上フチにしっかりとかけてください。
水槽の水位は水槽上フチから10cm以内にしてください。



吸水パイプの水が水槽上フチを越えると、サイフォンの原理により呼び水が開始されます。

吸水パイプを通った水がフィルターケース内を満たし、排水パイプ内の水槽水位と同じ位置までくれば呼び水の完了です。

7 モーターの始動と確認

呼び水完了後、電源を入れてモーターを運転させます。

運転開始30~60分後、フィルターが正常に運転しているか、水漏れがないかを確認してください。

※本製品には電源ボタンはありません。電源プラグの抜き差しによって運転、停止します。

日常の点検・手入れ

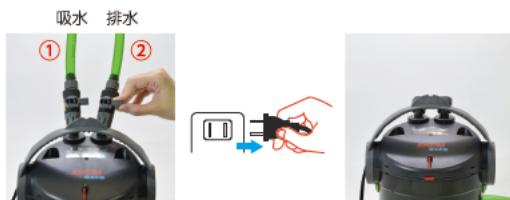
① モーターへッドの取り外し

(1) 吸水→排水の順番で開閉タップのコックを閉めます。

(2) コックを閉めたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止させます。吸・排水の開閉タップをコネクターのナットを緩めて本体から分離させます。

(3) ページ「セットの手順」の「1 モーターへッドの取り外し」の項目を参考にモーターへッドをフィルターケースから取り外します。

※マルチハンドル操作時に、ハンドルが重い場合は無理に操作せず、(2)を確認してください。



② ろ材の交換、洗浄

ページ「セットの手順」の「2 ろ材の洗浄」の項目を参考にろ材コンテナから各ろ材を取り出します。

サブストラットプロを飼育水で軽く洗います。
水道水を使用する場合は、バクテリアが死滅する恐れがあるため、あらかじめカルキを抜き、
飼育水と温度を合わせた水を使用してください。



細目フィルターパッド(白)は、フィルター掃除の度に新しいものと交換することをおすすめします。
粗目フィルターパッド(青)は、下記の交換目安を基準に、水やぬるま湯で洗浄してください。
活性炭フィルターパッド(黒)の使用期限は約2週間です。再利用はできませんので、破棄または交換してください。

(ろ材、フィルターパッド交換の目安)

粗目フィルターパッド(青):約6ヶ月で交換

細目フィルターパッド(白):約1ヶ月で交換

活性炭フィルターパッド(黒):約2週間で破棄、にごりやニオイがとれない場合は新しいものと交換。

サブストラットプロ:約6ヶ月に1回、または壊れてきたら1/3を目安に交換

※いずれのろ材も、形が崩れたり、洗っても目詰まりが解消されない場合は交換してください。

ページ「セットの手順」の「2 ろ材の洗浄/フィルターケースへのセット」を参考に、各ろ材をコンテナに入れ
フィルターケース内にセットします。

【重要】 フィルターケースに水を入れないでください

③ ポンプ室の掃除

フィルターが正常に機能するように、ポンプ室、ポール弁、ホース等は定期的に掃除してください。

インペラ、スピンドル/ラバーをはじめとする消耗部品も、定期的なメンテナンスまたは交換をおこなってください。



①ポンプ室用カバーの取り外し

ポンプ室用カバーの両端(赤)を押さえながら上に引っ張ります。

その際、横の凹部(黄)にも指を入れて持ち上げるとより外しやすくなります。
※けがをしないよう、注意してください。



②ポンプ室、インペラーカバーの掃除

インペラーカバーからインペラー、スピンドル/ラバーを取り出し、インペラーブラシセット(4009560)などを使用して汚れやぬめり、ゴミなどを取り除きます。インペラーやスピンドル/ラバーは正しくセットし直してください。パーツの紛失に十分注意してください。

※インペラーを装着する際は奥までゆっくりと装着してください。

ポンプ室拡大イメージ



インペラーブラシ
セット(別売)

③ポール弁の掃除

インペラーカバーの横にあるケース入りポール弁を取り出し、洗浄します。
ポール弁に落ちない汚れがついていたり、劣化してひび割れたりする場合は、新しいものと交換してください。

メンテナンス後



④ポンプ室用カバーのセット

ポンプ室内、ポンプ室用カバーに汚れがないことを確認し、ポンプ室用カバーを取り外しと逆の手順ではめます。「カチッ」と音がするまで、押し込んでください。



4 モーターへッドの装着

7ページ「セットの手順」の「3 モーターへッドの取り付け」の項目を参考に、モーターへッドを正しくセットしてください。※間違った方法で装着すると、本体の破損につながります。

★次の5ホース、パイプの洗浄をおこなわない場合は、「開閉タップを使用する呼び水」の項目を参考に呼び水をおこない、運転を再開させます。

5 ホース、パイプの洗浄

ホース、パイプ内に汚れやぬめりが付着すると、流量の低下を招きます。定期的に洗浄してください。

ホースやパイプ内の掃除には、ホースクリーナーセット(4005570)の使用をおおすすめします。

★この工程をおこなう場合、8ページ「セットの手順」「6 呼び水」の項目を参考に呼び水をおこない、運転を再開させます。

(開閉タップを使用する呼び水の方法)

吸水パイプ内、およびホース内が水で満たされている場合の呼び水の方法です。

「4 モーターへッドの装着」が完了した状態から、以下の手順で呼び水をおこないます。

①吸・排水の開閉タップを各コネクターに正しく接続してください。

②吸水側の開閉タップのコックを開き、次に排水側の開閉タップのコックを開きます。
吸水パイプ内にあった水がフィルターケース内に流れ込み、呼び水が開始されます。

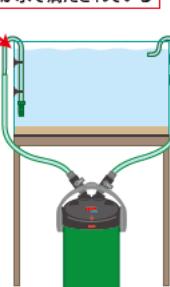
③吸水パイプを通った水がフィルターケースを満たし、排水パイプ内の水槽水位と同じ位置までくれば呼び水の完了です。

電源プラグをコンセントに挿し、運転を再開させます。

パイプの中が水で満たされている



ホースクリーナーセット(別売)



故障かな?と思ったら

現 象	原 因
メンテナンス時 マルチハンドルが うまく機能しない/ 重くなる	開閉タップのコックを閉めたままハンドルを操作している フィルターケース内に水が入っている ホースが折れている 設置場所が不適切。高低差不足またはオーバー Oリングに塗布したワセリンが不足している、Oリングにゴミを噛み込んでいる
マルチハンドルによる 呼び水ができない	水槽上フチと水面の高低差が10cm以上ある
運転開始時の異常音	【うなるような音】開閉タップのコックが開いていない 【ジュルジュル、ガリガリといった音】吸水が連続しておこなわれていない 【ジュルジュル、ガリガリといった音】モーターへッドが水面と同等または高い位置にある 【うなるような音、カリカリ／ガリガリ音】インペラ、スピンドル / ラバーの消耗や破損、またはラバーの装着不全
連続運転中の異常音	数十秒以上ごとに1回「シャー」というような音がして、排水側からエアーが抜ける インペラに付着したヌメリや汚れ、異物の噛み込みによる流量の低下 【うなるような音、カリカリ／ガリガリ音、運転音の増大】 インペラ、スピンドル/ラバーの消耗や破損、またはラバーの装着不全 吸水パイプに接続したプレフィルターや、フィルターケース内部のろ材などの目詰まりによる流量低下
作動しない	運転開始時の異常音を参照 モーター関連の異常。(コードの損傷、ポンプ室の変形や破損など)
水流が弱くなった/ 水が出なくなった	ろ材のつめすぎ/汚れによる目詰まり。フィルターパッド類の目詰まり ホースの折れ、汚れ、開閉タップのよごれ エアーの噛み込みによるインペラ空転
水漏れ	モーターへッドOリングのよじれ、装着不全、劣化 ホースの結合不全 本体の破損
運転中マルチ ハンドルが下がる	接触またはセット時に正しい位置に固定されていない
モーターへッドが外れない	フィルターと開閉タップを分離していない

処置方法

開閉タップのコックを閉めて本体と切り離してからハンドル操作をおこなってください。
マルチハンドル及び差込口の破損の恐れがあります。

呼び水の際は、フィルターケース内の水を抜いてからハンドル操作をおこなってください。

ホースの折れやよじれを直してください。また、たるまないよう適当な長さにカットして使用してください。

4ページの設置場所を参考に、正しい位置に設置してください。

7ページ「セットの手順」「3 モーターへッドの取り付け」を参考に、モーターへッドOリングならびにフィルターケース内部のOリングが当たる部位を洗浄後、同梱のワセリンを薄く塗布してください。また、Oリングに砂など噛み込まないようにしてください。

水位を高くしてください。また、吸水パイプは水槽上フチにしっかりとかけてください。

8ページ「セットの手順」「6 呼び水」参照

開閉タップのコックを開きます。開閉タップで流量調節はしないでください。

4ページの設置場所、7、8ページ「セットの手順」を参考に、正しく接続されているかを確認してください。特に高低差、呼び水の項目を確認してください。

4ページの設置場所を確認してください。本製品は水槽の下に置いて使用する機器です。

部品の交換、または正しく装着し直してください。9、10ページ「ポンプ室の掃除」参照。

インペラートスピンドル/ラバーは同時に交換することをおすすめします。

バクテリアの呼吸や水草の光合成などによって生じる気泡がフィルターケース内から排出される音で、故障ではありません。常にエアを吐き続けている場合は、パイプのつなぎ目などから空気を吸い込んでいないかなど確認し、正しく接続してください。また、吸水ストレーナーから空気が入るセッティングは避けてください。

9、10ページ「ポンプ室の掃除」を参考に、周辺パーツをメンテナンスまたは交換してください。

部品の交換、または正しく装着し直してください。9、10ページ「ポンプ室の掃除」参照。

インペラートスピンドル/ラバーは同時に交換することをおすすめします。

掃除、または交換をおこなってください。プレフィルターやスponジプレフィルターなどを取り付ける場合は、目詰まりによる流量低下に注意し、定期的に掃除してください。

これらの部分は修理不可能です。新しいフィルターをお求めください。

7ページ「セットの手順」を参考にセットし直してください。ろ材の掃除、または交換をおこなってください。

ホースや開閉タップの掃除をおこなってください。ホースの折れは、40°C~50°Cのお湯に浸すと矯正できます。(ヤケドに注意)

電源を抜いて本体を傾けるなどして、フィルターケース内部の空気を追い出してください。

改善されない場合、呼び水を最初からやり直してください。

Oリングを正しく装着し直す、または交換してください。7ページ「セットの手順」「3 モーターへッドの取り付け」参照。

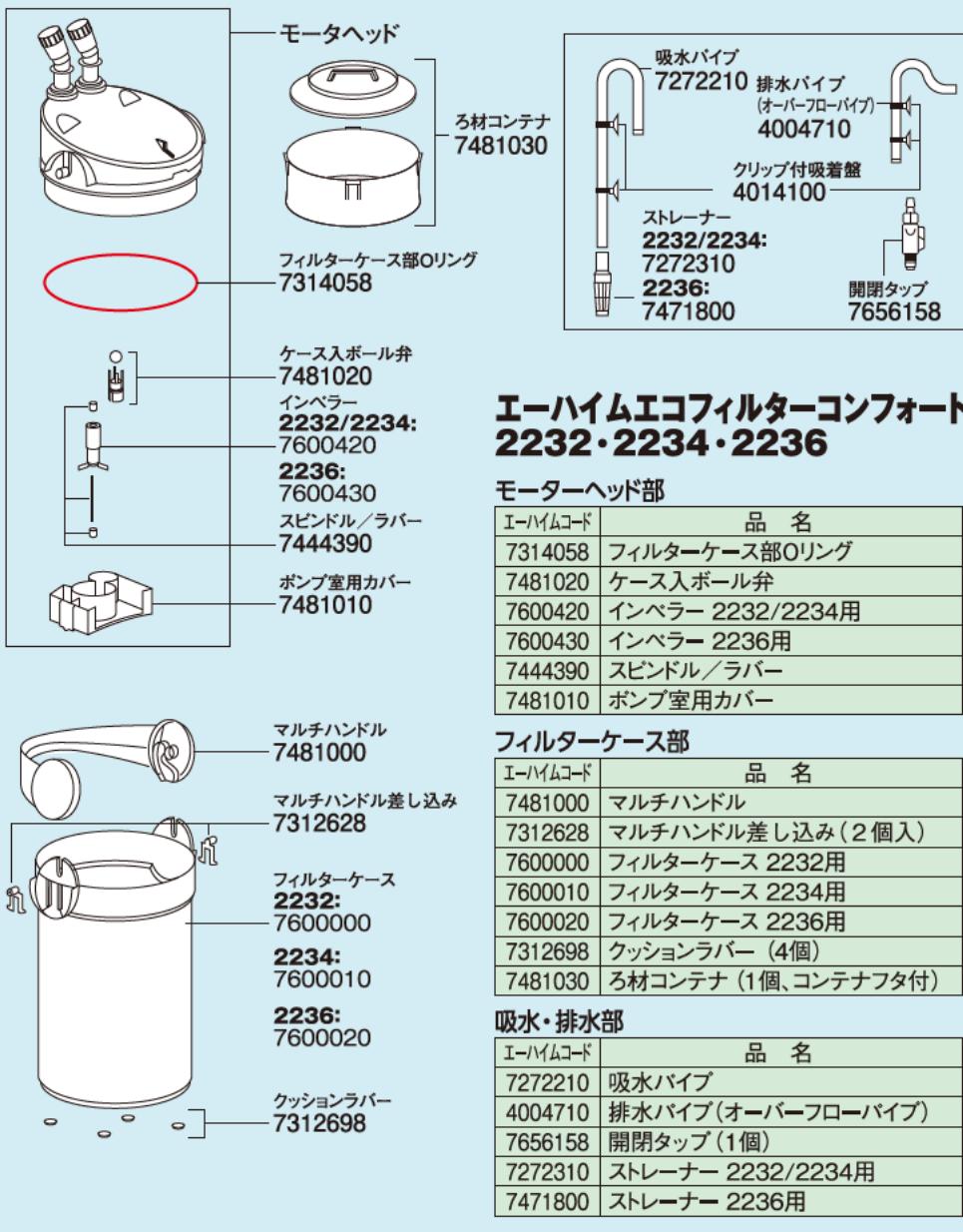
ホースとパイプを正しく接続してください。また、ホースの切り口はまっすぐにしてください。

破損部分を確認し、交換してください。

7ページ「セットの手順」を参考に、マルチハンドルを垂直に起してください。

9、10ページ「日常の点検、手入れ」を参考に、正しい手順で取り外してください。

主要部品図



エーハイムエコフィルターコンフォート 2232・2234・2236

モーターヘッド部

エ-ハイムコード	品名
7314058	フィルターケース部Oリング
7481020	ケース入ボール弁
7600420	インベラー 2232/2234用
7600430	インベラー 2236用
7444390	スピンドル／ラバー
7481010	ポンプ室用カバー

フィルターケース部

エ-ハイムコード	品名
7481000	マルチハンドル
7312628	マルチハンドル差し込み(2個入)
7600000	フィルターケース 2232用
7600010	フィルターケース 2234用
7600020	フィルターケース 2236用
7312698	クッションラバー(4個)
7481030	ろ材コンテナ(1個、コンテナフタ付)

吸水・排水部

エ-ハイムコード	品名
7272210	吸水パイプ
4004710	排水パイプ(オーバーフローパイプ)
7656158	開閉タップ(1個)
7272310	ストレーナー 2232/2234用
7471800	ストレーナー 2236用

エココンフォートシリーズ 適合アクセサリー表

〈吸水〉

I-ハイムコード	品名
4004551	パイプクリーナー
4005570	ホースクリーナーセット
4014100	クリップ付吸着盤(2個入)
4004800	プラスチックパイプ(1m)
4004940	ホース(1mにつき)
4004949	ホース(3m) Ø12/16mm
4004530	ホースバンド(2個入)

〈排水〉

I-ハイムコード	品名
4004950	T-ジョイント
4004551	パイプクリーナー
4005570	ホースクリーナーセット
4014100	クリップ付吸着盤(2個入)
4004800	プラスチックパイプ(1m)
4004940	ホース(1mにつき)
4004949	ホース(3m) Ø12/16mm
4004700	ジェットパイプ
4003651	ディフューザー
4004530	ホースバンド(2個入)
7275750	シャワーパイプ
7275850	止水栓(2個入)

〈交換用ろ材〉

I-ハイムコード	品名
2628311	活性炭フィルターパッド(3枚入)
2616316	細目フィルターパッド(3枚入)
2234998	細目フィルターパッド(6枚入)
2616311	粗目フィルターパッド(3枚入)
2510061	エーハイム サブストラットプロ 1ℓ
2510761	エーハイム サブストラットプロ 5ℓバケツ

〈ワセリン〉

7345988	ワセリン 全Oリング用
---------	-------------

あると便利! 別売アクセサリーの紹介



シャワーパイプ

エーハイムコード 7275750

オーバーフロー パイプに接続することで、均一な水流をつくりだします。



ナチュラルフローパイプ

エーハイムコード 4005720

フィルターからの水の流れをゆるやかにします。可動コネクターの採用によって、水の出る方向も自由自在!!

